



施工説明書

ウォシュレット®。一体形便器ネオレスト

◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

品番：CS902B＊型

工事業者様へ

必ず実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

安全に関するご注意・・・・・・・・・・ 5

取り付け前のご注意・・・・・・・・・・ 7

同梱部品・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

別包装部品・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

施工手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

取付方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

■工事内容に応じて指定のページをご参照ください。

洗浄水量の切り替え・・・・・・・・・・ 25

試運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

給水フィルターの掃除（試運転後）・・ 29

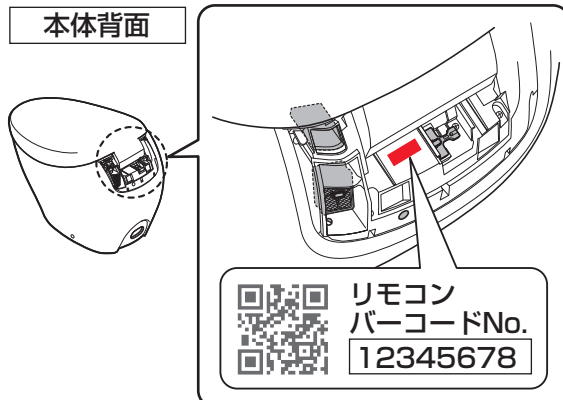
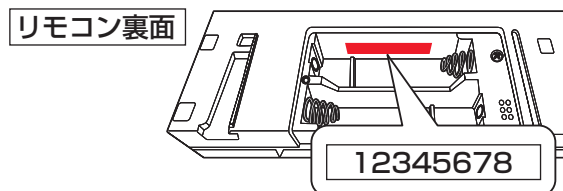
製品引き渡しまでの期間が長い場合・・ 31



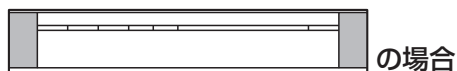
の場合

- 本体とリモコンは「組み合わせ設定」されています。同梱以外のものを取り付けしないでください。

例) リモコンNo.12345678の場合



本体背面

本体とリモコンのNo.(8桁)で、
組み合わせを確認してください。

の場合

必ず実施

組み合わせ設定が
必要です本書P.22～24または、ビルトインリモコンに
同梱の施工説明書をご覧ください、正しく設定
してください。

施工情報を見る

関連商品の動画・説明書

[https://search.toto.jp/contents/sekou/
neorest.htm](https://search.toto.jp/contents/sekou/neorest.htm)

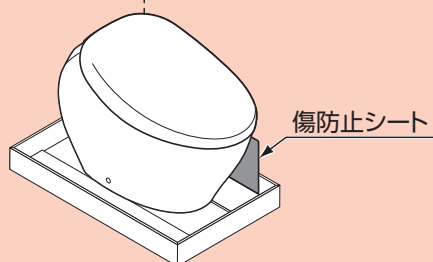
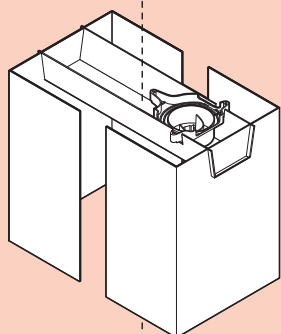
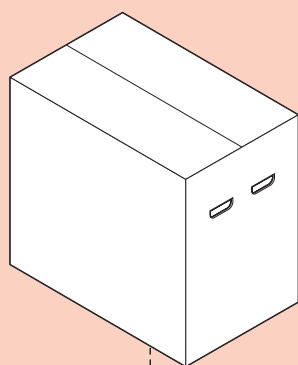
※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

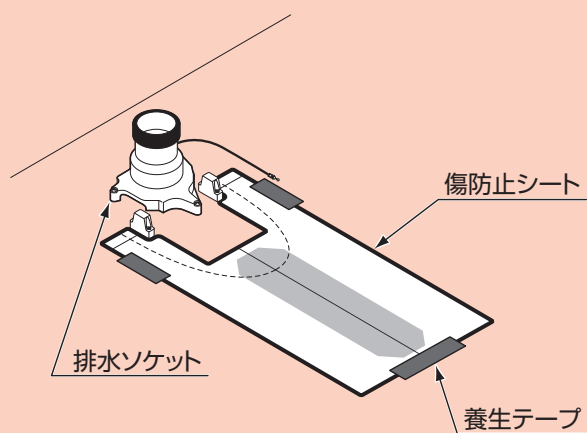


**必ず
実施**

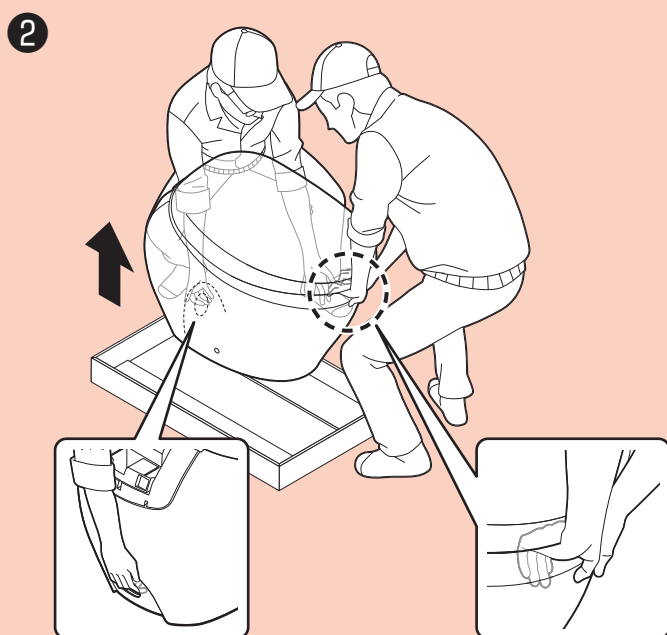
傷防止シートを使って
2人以上で便器を取り付けてください。



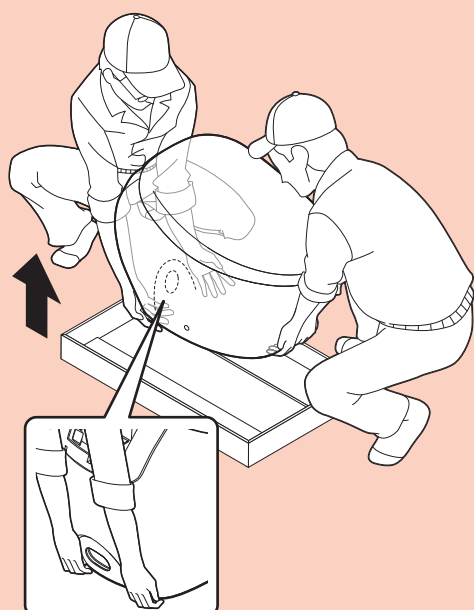
①



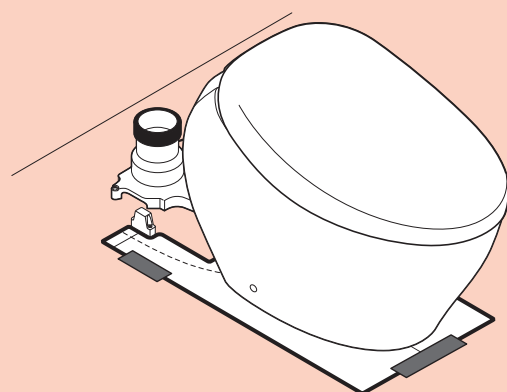
※詳細は15～16ページ 取付方法6～7を参照ください。



または



3



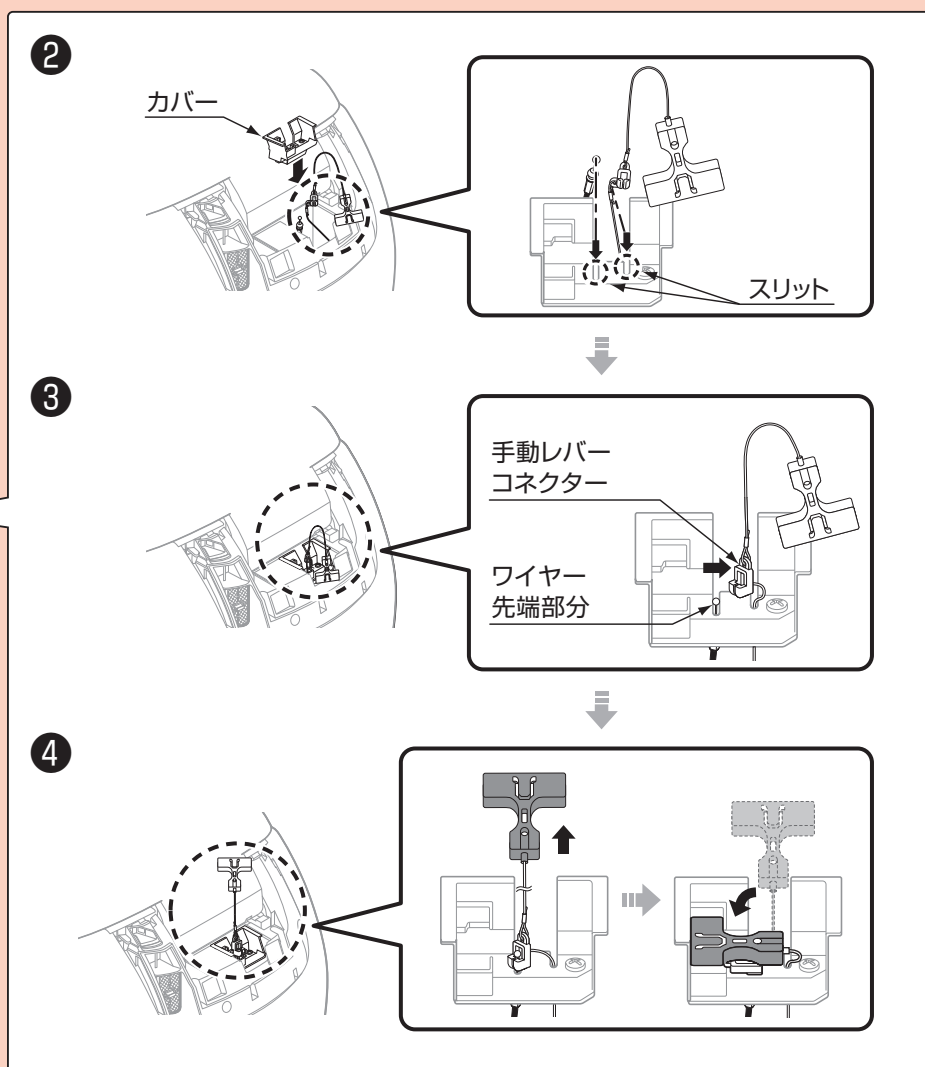
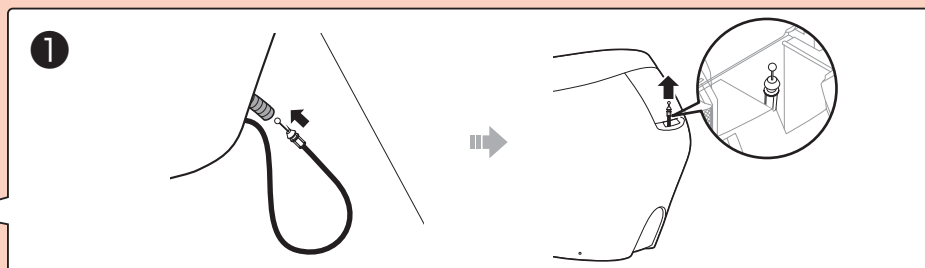
動画を見る

施工手順



必ず 実施

排水ソケットのワイヤーを手動レバーに取り付けてください。



※詳細は18～19ページ 取付方法 9を参照ください。

動画を見る

手動レバーの取り付け



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、
いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	------------------------------------	---	---

 警告 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
 禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しない 火災、感電、発熱、ショートの原因になります。
	指定する電源（交流100 V）以外では使用しない 火災や発熱の原因になります。
	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままでは使用しない 火災や発熱の原因になります。
	飲用可能な水以外は使用しない 故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。
	コンセントは給水位置の真下に設置しない 結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。
	給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない 結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。
 必ず実行	車輜・船舶など、移動体への設置はしない 火災や感電、発熱、ショート、故障などの原因になります。 便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。
	アース（D種接地）を確実に取り付ける アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

便器に強い力や衝撃を与えない

便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

給水ホースを無理に折り曲げたり、つぶしたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない
給水ホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

便座・便ふたを持って製品を持ち上げない

便座・便ふたなどがはずれたり落下し、けがをする原因になります。

止水栓を開けたままで給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない

止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

正常な取り付けができなくなる可能性があります。

設置工事は、この説明書に従って確実に行う

故障や水漏れの原因になります。

持ち運びや取り付けは必ず2人以上で行う

腰を痛めたり、便器を落として破損してけがをする原因になります。

給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める
確実に締めないと水漏れの原因になります。

電池の＋表示をよく確かめて入れる

電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。

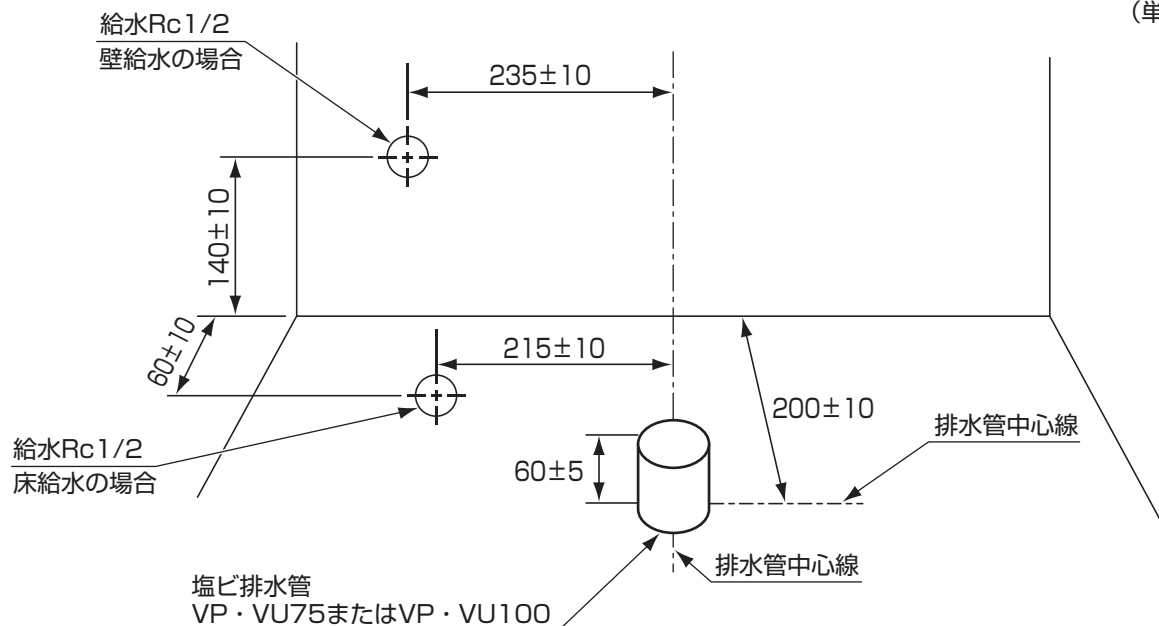
長期間使わないときは、リモコンや電池ボックスから電池を取り出しておく

電池の液漏れの原因になります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

取り付け前のご注意

(単位：mm)



⚠ 注意



必ず実行

排水管の立ち上げ寸法が55 mm未満の場合は、立ち上げ用アダプターHH01001R(別売品)を使用する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

動画を見る

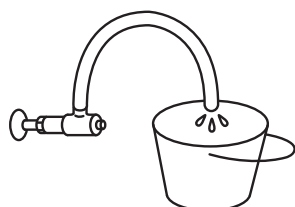
立ち上げ用アダプター施工手順

<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/setkanagu.htm>

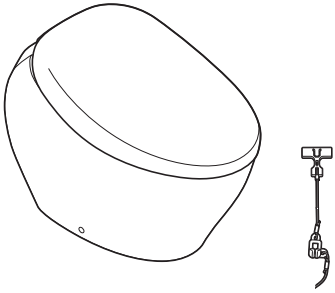
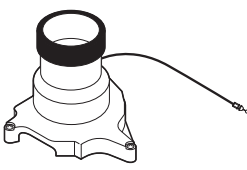
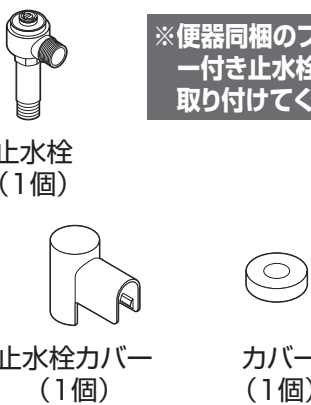
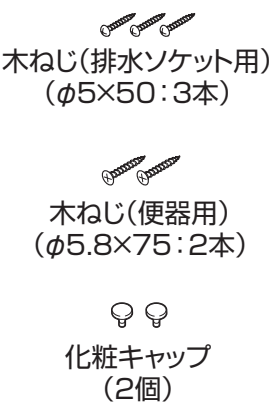
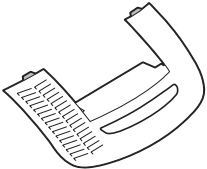
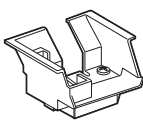
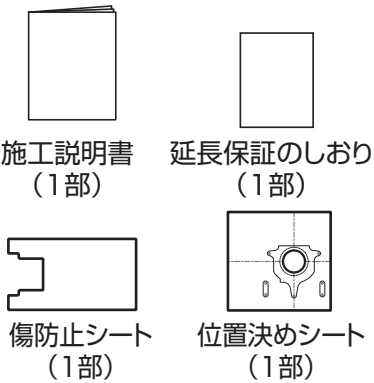


- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようご注意ください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 施工前に給水取り出し位置及び排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 排水管が床面と同一でカットされている場合は、60 mm立ち上げ用アダプター(HH01001R)をご購入ください。
- 定格15 A以上、交流100 V(50/60 Hz)の埋込アースターミナル付コンセントを単独で使用してください。
(電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体のラベルに記載しています。)
- 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
- 電源コードの長さは約1.0 mです。
コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水には、最低必要水圧(流動時)0.05 MPa(10 L/min)を確保してください。(最高水圧0.75 MPa)
- 製品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。
- 出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合もありますが、製品には問題ありません。
- 取付面がコンクリート、モルタルの場合は、樹脂プラグ「HH04060(Φ8、10個1組)」を別途手配してください。

- 製品を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。



同梱部品 ※部品があるか、下記を参照して確認してください。 ※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

便器本体	排水ソケット	固定片
 手動レバー ※後方カバー内に同梱	 便器接続部(1個) ※ゴムジョイント、手動レバー付き	 便器用固定片 (2個) 木ねじ ($\phi 5 \times 50$: 4本)
給水金具	固定金具類	印刷物組品
 止水栓 (1個) 止水栓カバー (1個) カバー (1個) ※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。	 木ねじ(排水ソケット用) ($\phi 5 \times 50$: 3本) 木ねじ(便器用) ($\phi 5.8 \times 75$: 2本) 化粧キャップ (2個)	 印刷物組品 (1セット) 電池ボックス (1個) 開閉工具 (1個)
後方カバー	カバー	その他
 (1個)	 (1個) ※固定用ビス付き	 施工説明書 (1部) 延長保証のしおり (1部) 傷防止シート (1部) 位置決めシート (1部)

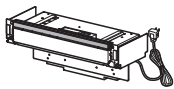
リモコン部品	※使用しない部品は、必ずお客様にお渡しください。	
 ハンガー リモコン  「流すボタン」ラベル  リモコン盗難防止用部品 (取付説明書付) ※必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。	 乾電池 (単3形×2本)	 ねじ(3本)
	 アンカープラグ (3本)	

別包装部品（ビルトインリモコン付のみ）

ビルトインリモコン部品

必ず実施 組み合わせ設定が必要です。

※ビルトインリモコンは
手洗器、カウンター部
材と同送されます。



リモコン



化粧板(2個)



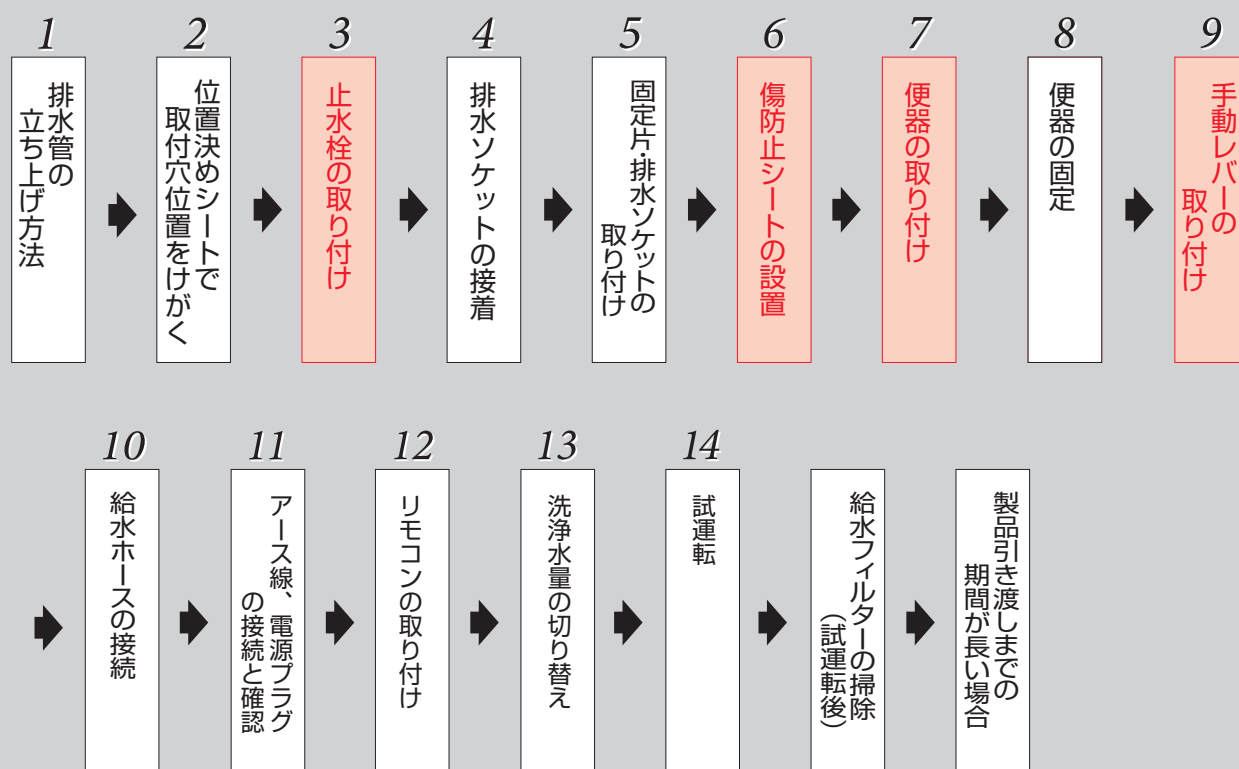
なべ座金組込小ねじ
M4×10(2本)



施工説明書

施工手順

この施工手順に従って正しく取り付けてください。



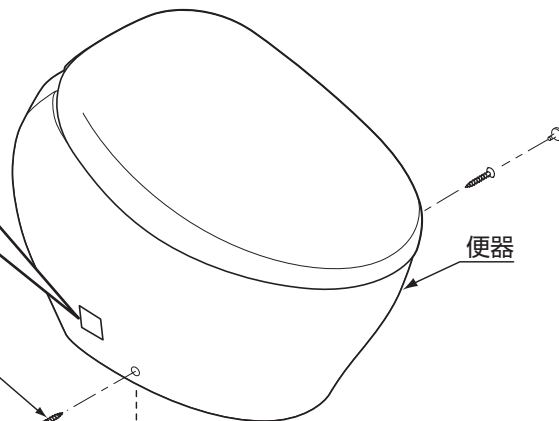
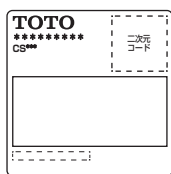
動画を見る

施工手順



各部のなまえと施工のポイント

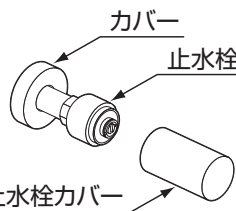
二次元コードを読み込むと
施工情報を確認できます。



木ねじ(φ5.8×75)

化粧キャップ

壁給水の場合



止水栓カバー

止水栓
カバー

木ねじ(φ5×50)

木ねじ(φ5×50)

ポイント① 排水ソケット

- ・排水ソケットの取付方向を間違えないこと!
- ・接着剤塗布位置を間違えないこと!
- 排水ソケットは内周、排水管は外周です。
- ・排水ソケットと排水管は両方に接着剤を塗布すること! (➡ 4)

固定片

手動レバー

ポイント② 固定片

- ・位置決めシートで固定片の位置を正しく出すこと! (➡ 2)

ポイント③ 排水管

- 必ず60±5 mmで切断すること! (➡ 1)

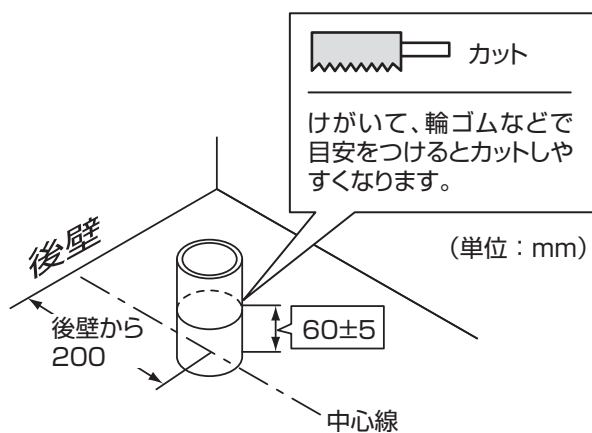
傷防止
シート

注意 製品同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

取付方法

1 排水管の立ち上げ方法

排水管を所定の位置に取り出す。

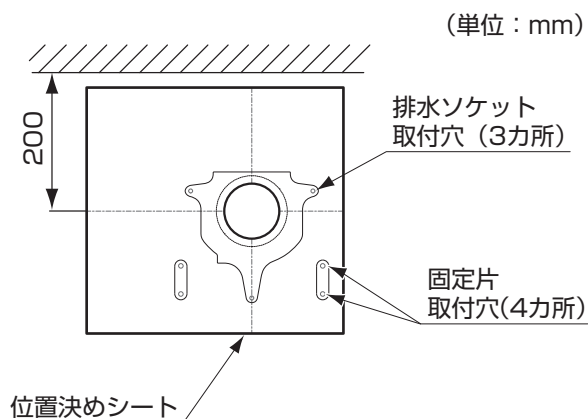


※排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去してください。

注意 排水管と床にすき間がある場合、防カビ性のシリコン系シーリング材にて充てんしてください。階下に水漏れが発生するおそれがあります。

2 位置決めシートで取付穴位置をけがく

- 1 排水ソケット取付穴(3カ所)、固定片取付穴(4カ所)をけがく。
- 2 けがいた取付穴にφ3程度の下穴をあける。
・φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



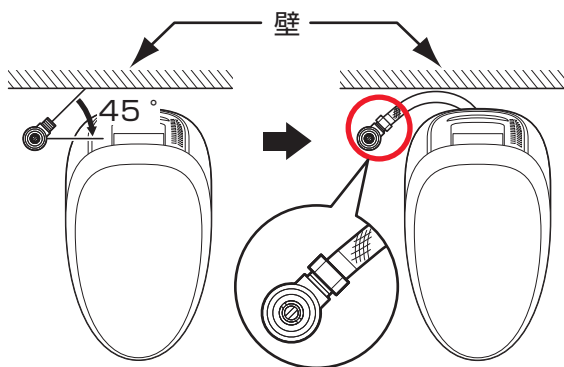
取付方法

3 止水栓の取り付け

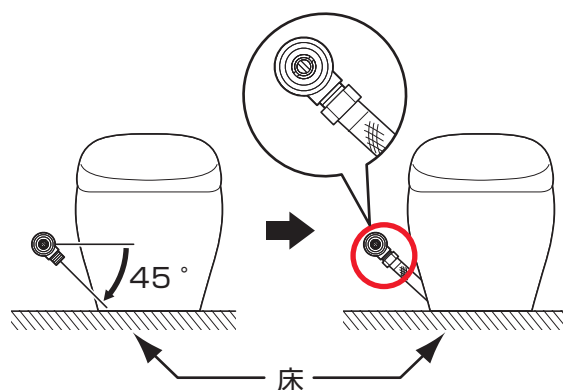
- ① 給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
・ 給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがあります。

止水栓の給水取り出し方向を確認して取り付けてください!

床給水の場合の止水栓取付方向



壁給水の場合の止水栓取付方向



⚠ 注意



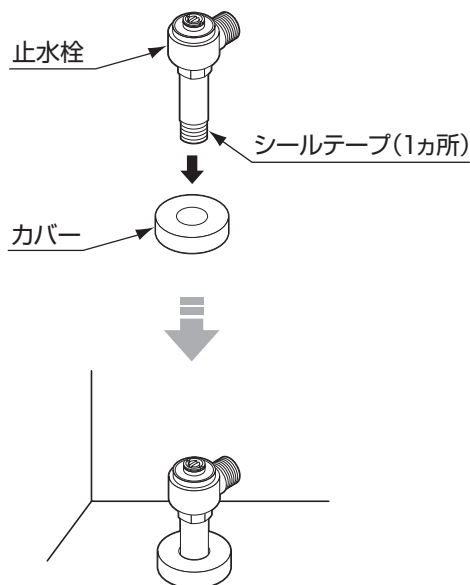
止水栓の給水取り出し方向を45°の範囲で取り付ける
誤った方向に取り付けると洗浄不良や水漏れのおそれがあります。

※右給水の場合は、上図の左給水と左右対称の給水取り出し方向に取り付けてください。

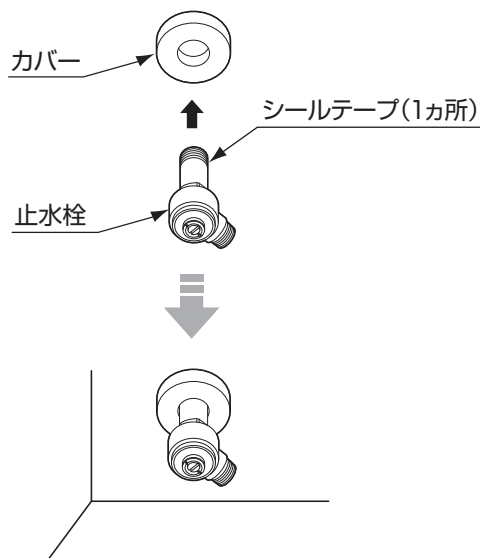
- ② 止水栓を所定の位置に取り付ける。

・ ねじ部にはシールトープを巻いて取り付けてください。
※取り付け時の際、止水栓の向きに気をつけてください。

〈床給水の場合〉



〈壁給水の場合〉



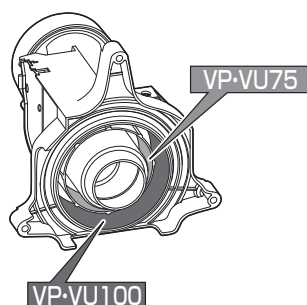
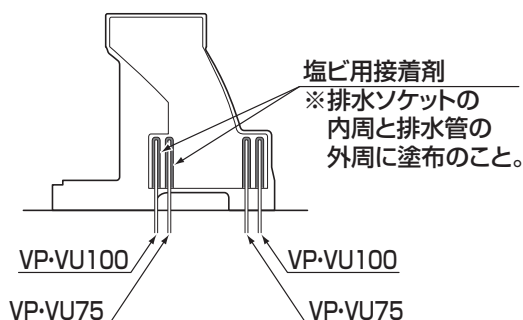
注意 製品同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

取付方法

4 排水ソケットの接着

- ① 2 だけがいた位置に排水ソケットを置き、前後を確認する。
- ② 排水ソケットと排水管の接着部に塩ビ用接着剤を塗る。
- ③ 中心線に合わせ、排水ソケットが床面につくまで排水管に押し込む。
・押し込む際、床と排水ソケットでワイヤーを挟まないようにしてください。

接着材塗布位置



※排水管の種類によって塗布位置が異なります。

注意 一度接着すると、手直しができません。

⚠ 注意

接着剤塗布位置を確認する

塗付位置を間違えると水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布する

片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

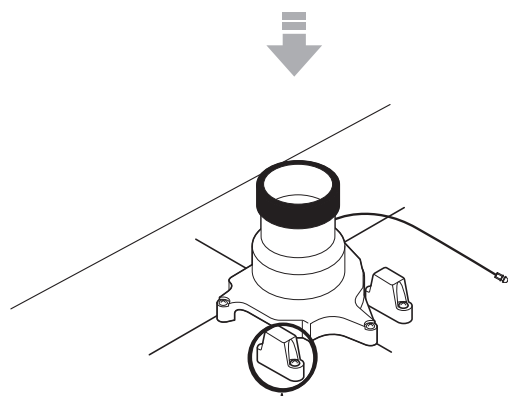
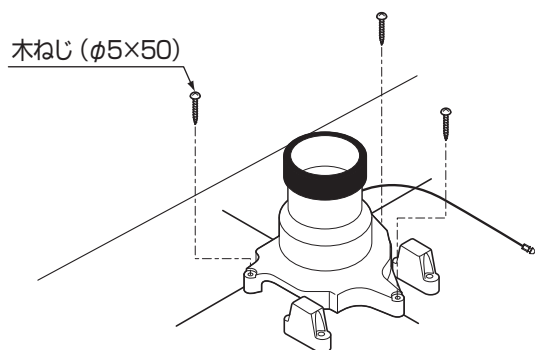
排水ソケットは下面が床面につくまで押し込む
押し込まない場合、排水ソケットの固定時に破損するおそれがあります。

必ず実行

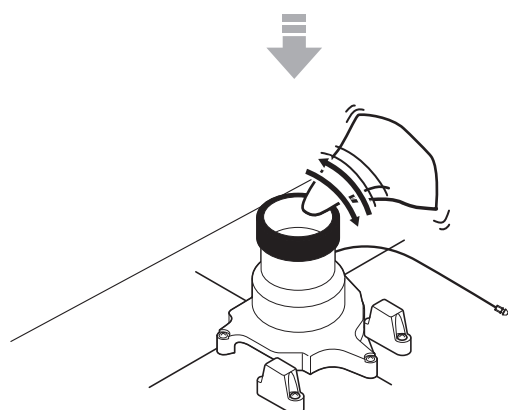
5 固定片・排水ソケットの取り付け

- ① 排水ソケットを木ねじで床(3カ所)に固定する。
- ② 固定片を、木ねじで床(4カ所)に固定する。
・床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

注意 取り付ける際、床と排水ソケットでワイヤーを挟まないようにしてください。



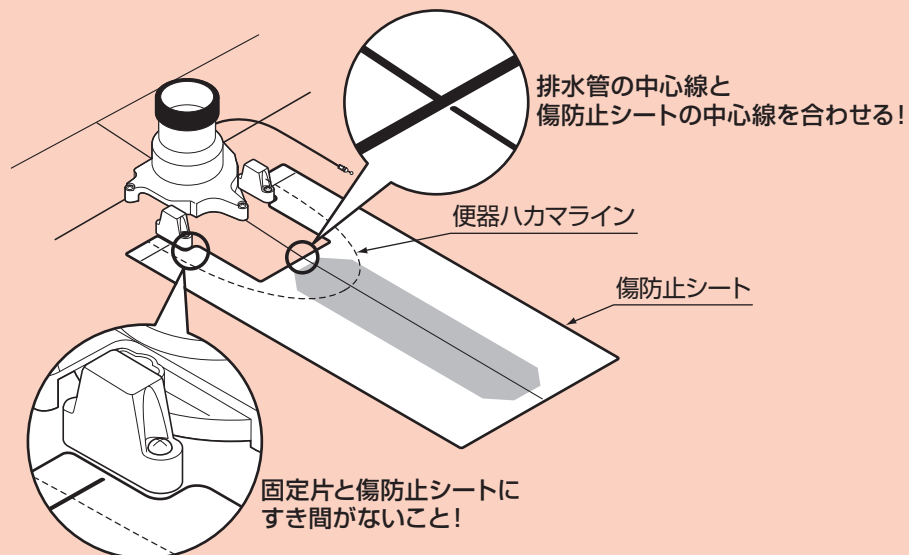
固定片の取り付け (2カ所) 木ねじ (φ5×50) 固定片



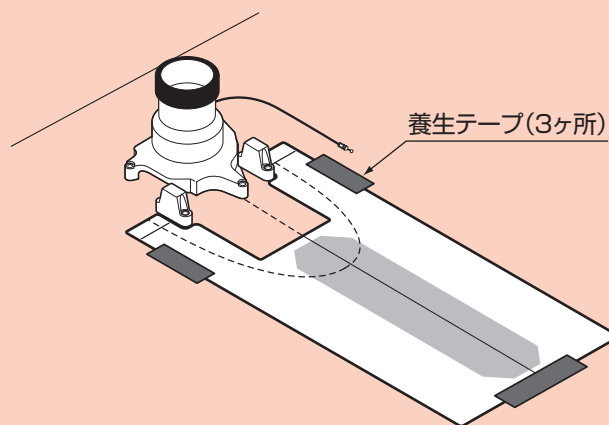
6 傷防止シートの設置

- ① 5-②で取り付けした固定片に合わせて傷防止シートを床に設置する。

※設置する際、ゴミなどが無いことを確認してください。



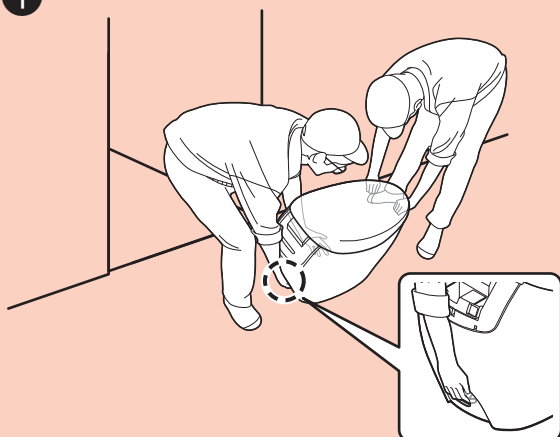
- ② 設置した傷防止シートを養生テープなどで固定する。



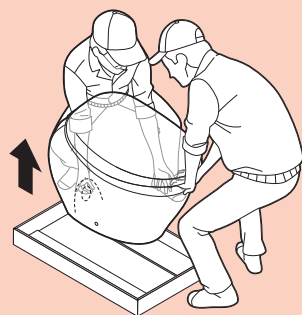
注意 養生テープは上図のように傷防止シートの外側に貼り付けてください。
内側に貼り付けると、便器取り付け後に傷防止シートを取り外すことができません。

7 便器の取り付け

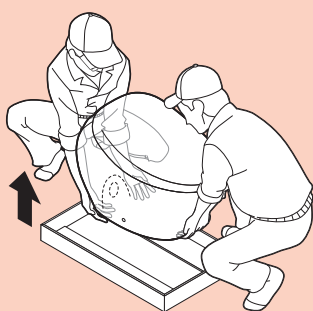
①



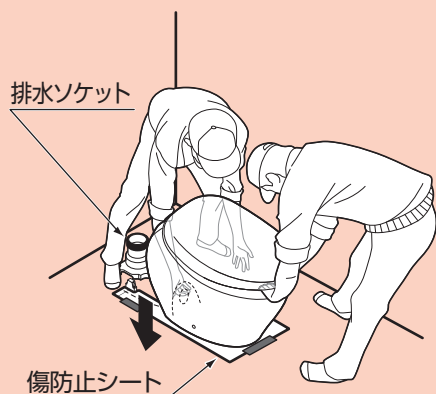
② 便器を持ち上げて移動する。



または



③ 傷防止シートの上に便器を仮置きする。



④



▲作業者② 便器が倒れないように支える。



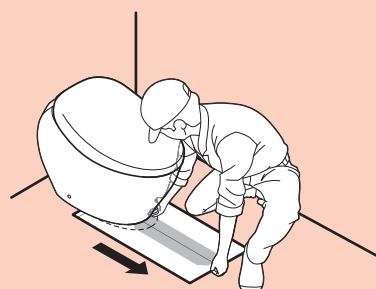
◀作業者① 便器を下ろし、排水ソケットに接続させる。

注意

- ・便器を下ろす際、後壁に手を挟まないようにしてください。
- ・取り付ける際、床と排水ソケットでワイヤーを挟まないようにしてください。



⑤ 養生テープをはがして傷防止シートを取り外す。

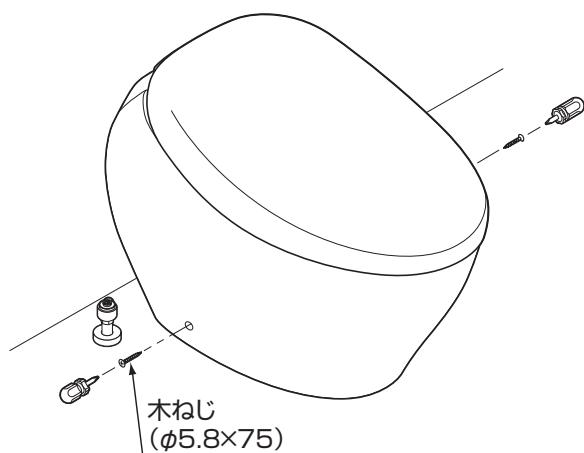


便器取り付け後、床とハカマにすき間がないことを確認してください。

取付方法

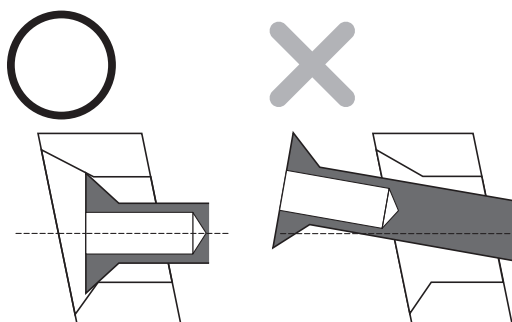
8 便器の固定

- ① 便器の取付穴(2カ所)を木ねじで固定する。



注意

- ・ 木ねじは傾けず床面と水平にして、確実に締めてください。
- ・ 設置場所が狭いなど水平にできない場合は、短いドライバーを使用してください。



- ・ 締め過ぎて便器を破損させないようにしてください。

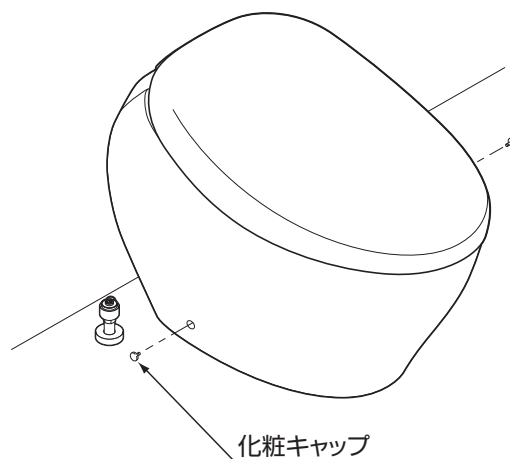
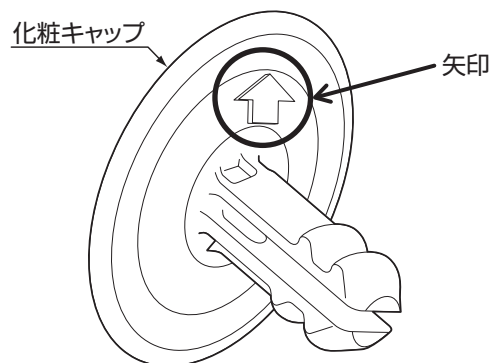
注意

最後の増し締めは手締めにより行い、便器を割らないようにしてください。

- ② 化粧キャップの背面の矢印を上に向けて木ねじの頭に取り付ける。

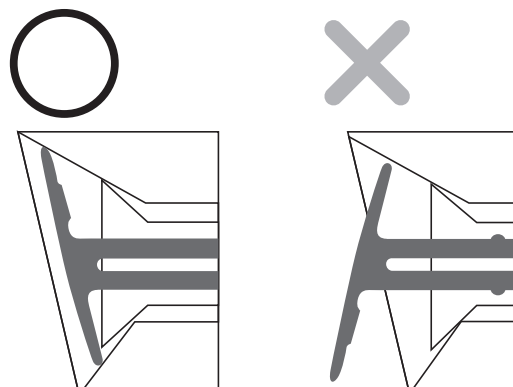
注意

化粧キャップの背面の矢印を上に向けて取り付けてください。



注意

化粧キャップが便器の取付穴に収まっていることを確認してください。



取付方法

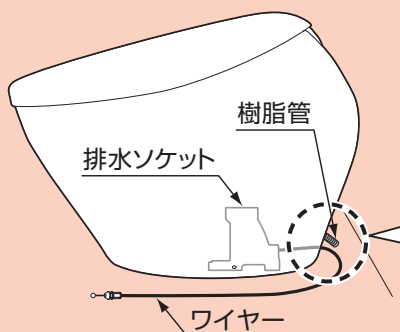
9 手動レバーの取り付け

動画を見る

手動レバーの取り付け

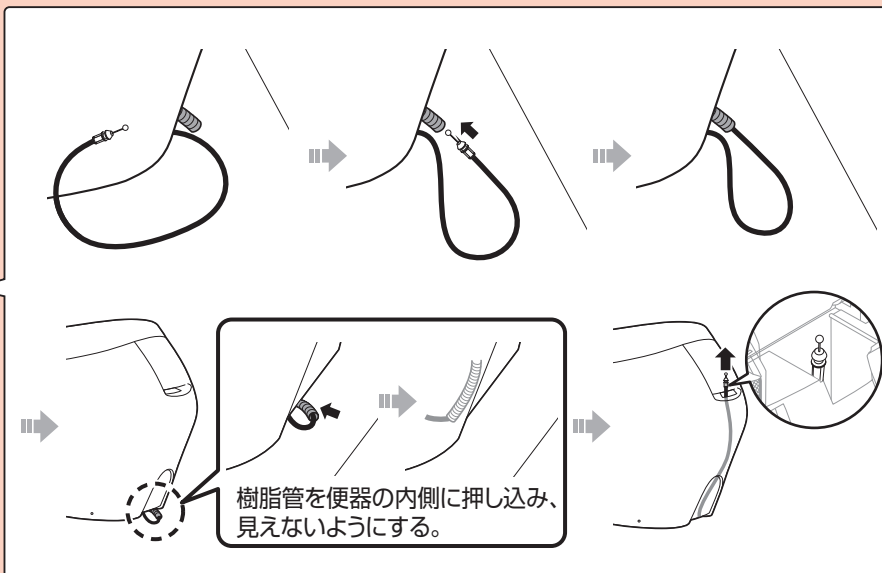


- ① ワイヤー先端のボールを樹脂管に差し込み、便器上面に押し出す。



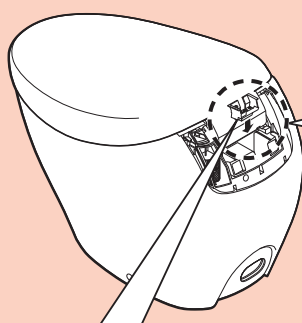
注意

樹脂管を引っばらないでください。
破損するおそれがあります。

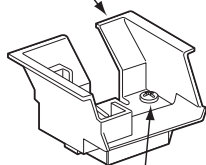


- ② -1 ワイヤー先端のボールをつまみ出し、カバーのスリットにワイヤーと手動レバーを引っ掛ける。

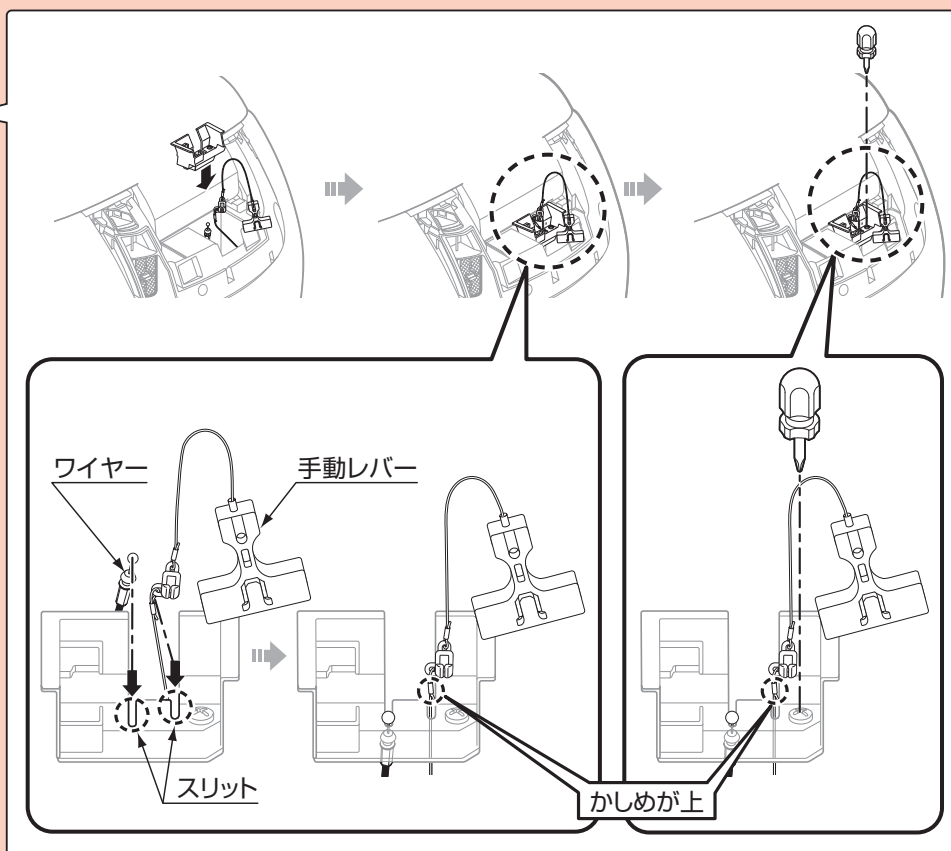
- ② -2 固定用ビスで便器本体に固定する。



カバー
同梱部品



固定用ビス



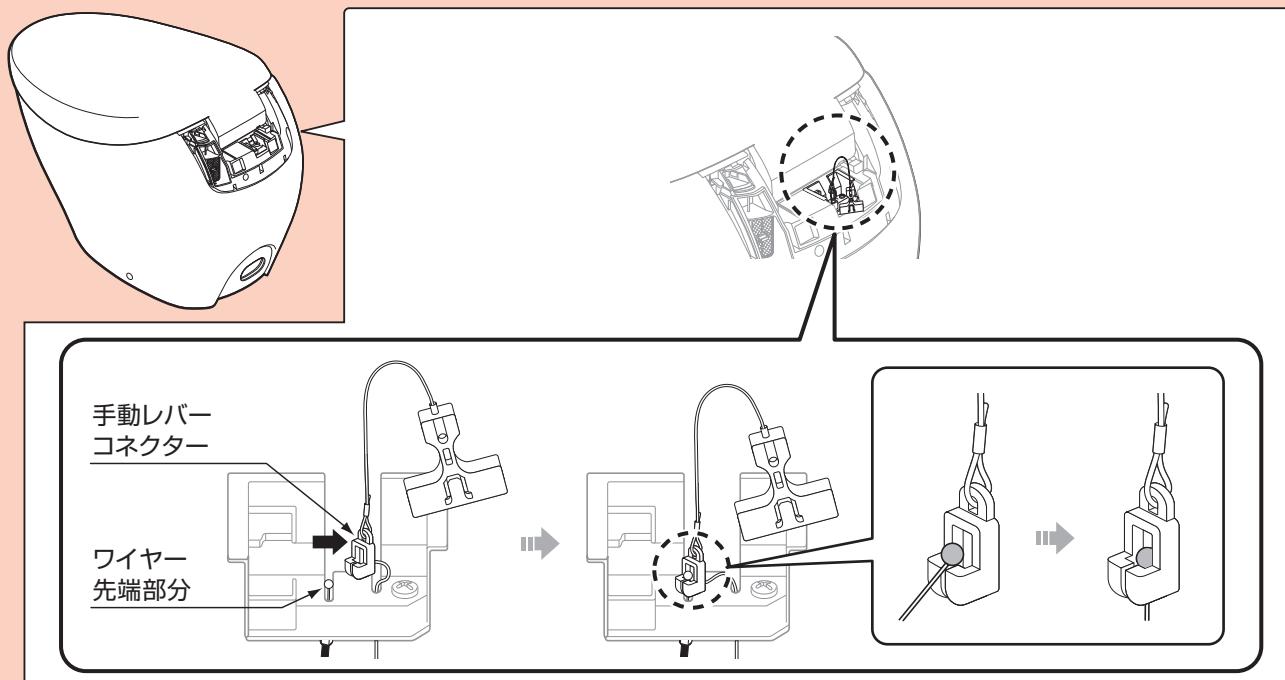
ポイント

- ① ワイヤーを引き出しすぎるとカバーを固定しにくくなります。
- ② カバーを固定するときは、ワイヤーの飛び出し量を調整すると固定しやすくなります。
- ③ かしめをスリットの上にして引っかけてください。

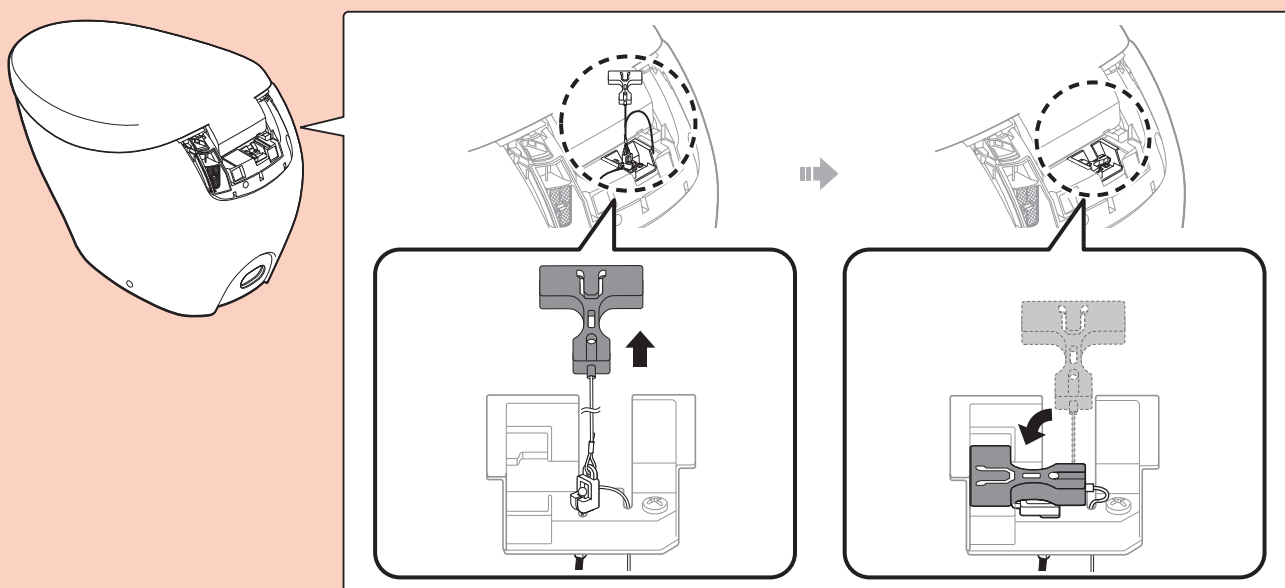
取付方法

9 手動レバーの取り付け(つづき)

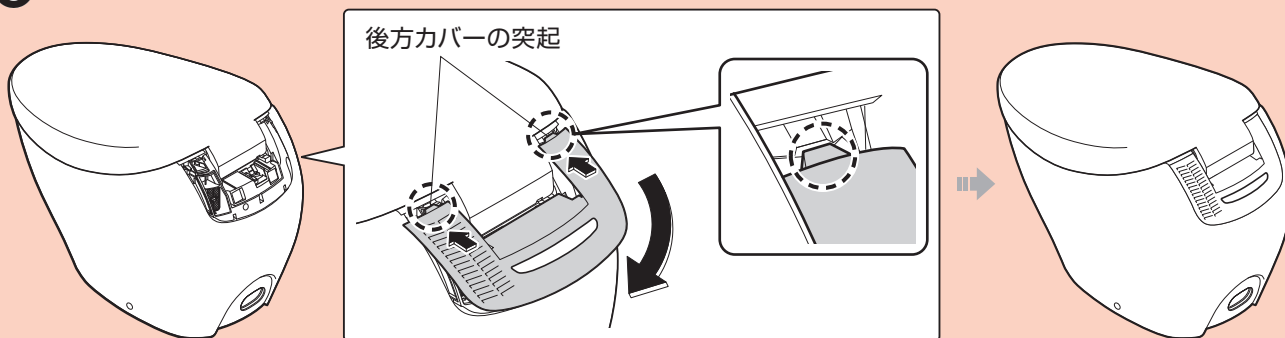
- ③ ワイヤ先端のボールをつまみ出し、手動レバーのコネクターと接続する。



- ④ 手動レバーを上に取り上げ、コネクターがはずれないか確認し、カバー内に収納する。



- ⑤ 後方カバーを取り付ける。



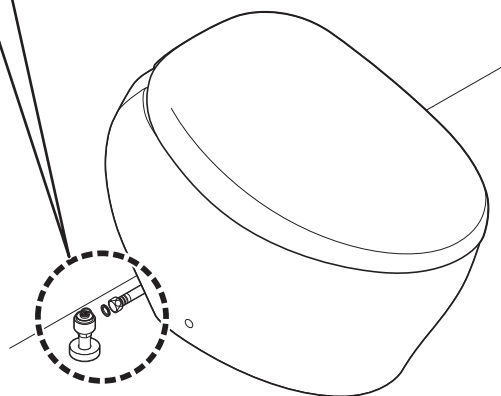
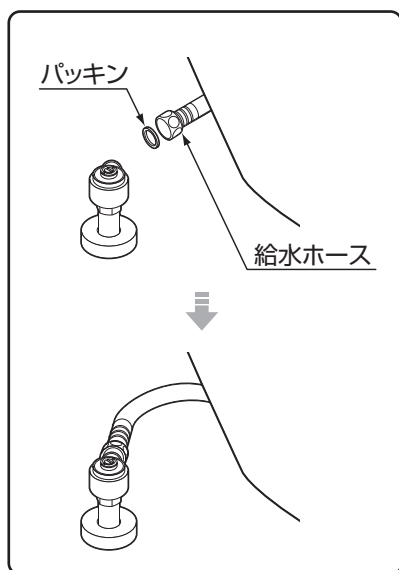
突起は確実に差し込んでください。(後方カバーの破損の原因)

後方カバーを取り付けた際、浮いているときはカバーを取り付けなおしてください。

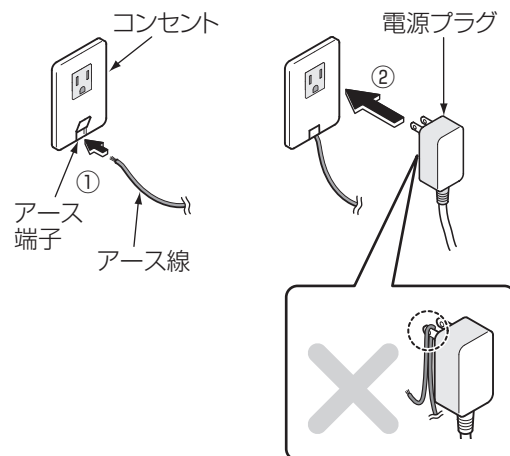
取付方法

10 給水ホースの接続

給水ホースを止水栓に接続する。

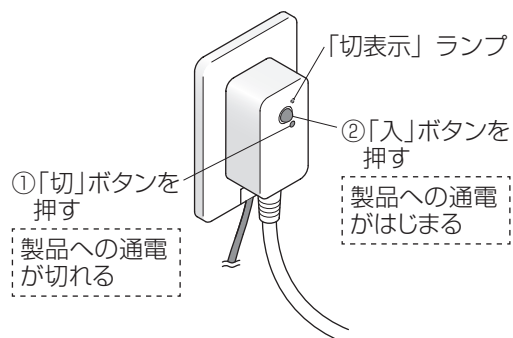


11 アース線、電源プラグの接続と確認



●ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する。

●電源プラグの作動確認をする。



「切表示」ランプが、
①で点灯、②で消灯すれば正常です。

取付方法

12 リモコンの取り付け

スティックリモコンの場合

① リモコンに乾電池を入れる。

② 取付位置を決める。

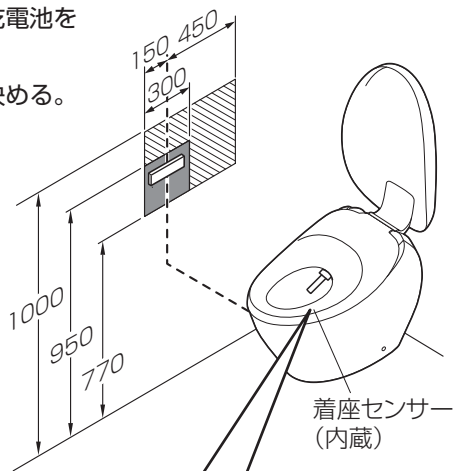


取付位置の目安



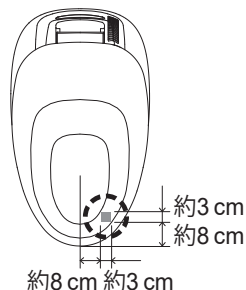
使いやすい位置
の目安

(単位：mm)



【作動の確認】

- ① 手または腕で図の破線部（着座センサー部）に触れる
(③まで触れたままにしておいてください。)
- ・センサーの特性上、
肌が直接触れるようにしてください。
→脱臭がはじまることを確認してください。



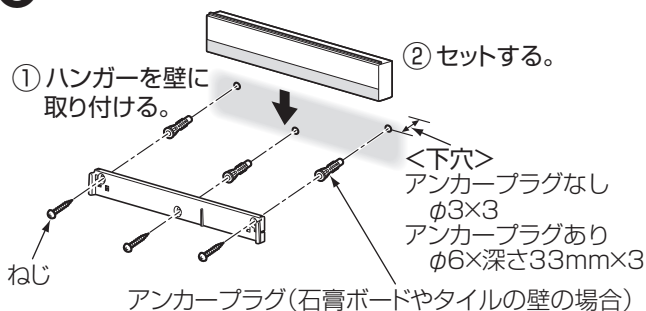
- ② 「おしり」 ボタンを押して、ノズルが伸出することを確認する
- ③ 「止」 ボタンを押す

作動しない場合

- ➡リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
- ※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。
- 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
 - 本体やリモコンの近くに金属物があるとき
※同梱以外のものを取り付けると作動しません。
 - 本体と、リモコンのラベルで組み合わせを確認し、同梱のものを取り付けてください。

(表紙 **工事業者様へ** 参照)

③ ハンガーの取り付け

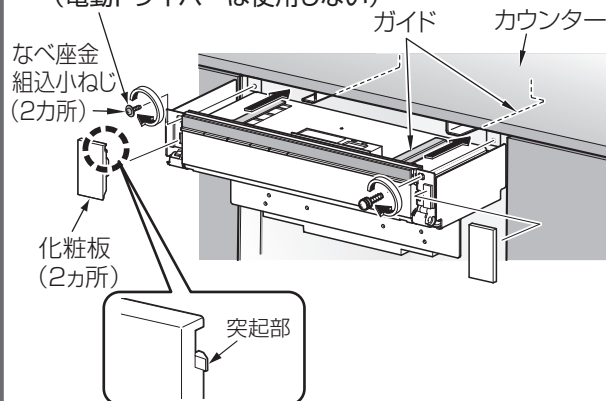


ビルトインリモコンの場合

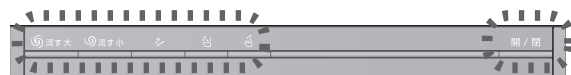
※傷つきに注意

詳細はビルトインリモコンに同梱の施工説明書に従い、取り付けを行ってください。

- ① しっかり締めつける。
(電動ドライバーは使用しない)



- ② 電源プラグを差し込む。
ビルトインリモコンが点滅します。



化粧板のはずしかた



必ず実施

**組み合わせ設定が
必要です**

次ページ以降の「組み合わせ設定」をご覧ください、正しく設定してください。

取付方法

12 リモコンの取り付け(つづき)

ビルトインリモコンの場合

必ず実施

組み合わせ設定

●設定をしないと各機器が作動しません。

- 照明付化粧鏡の取り付け有無やキャビネットの種類によって、
組み合わせ設定 **A**・**B** を選択してください。

キャビネット施工時に
照明付化粧鏡を
取り付けていない

キャビネット施工時に
手洗い器下の
キャビネットが「開き戸」で
照明付化粧鏡を取り付けた

B 23～24ページ

A

- ビルトインリモコンに同梱の施工説明書の「取付方法」を完了してから
行ってください。

必ず以下の施工手順に従って作業してください。

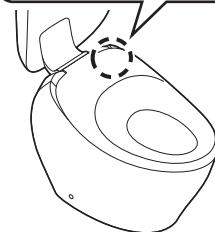
(施工手順を変えると、正しく設定できない場合があります。)

- ① 製品本体とビルトインリモコンの電源プラグを差し込む。

- ② 便座右上の流すボタン  を押し続ける
(10秒以上)

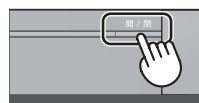
・ボタンを押すとすぐに「ピッ」という電子音が鳴りますが、約10秒後に「ピッ」という電子音がもう一度鳴るまで押し続けてください。
(1回目の電子音は、便器洗浄の受付音です。)

押し続ける
(10秒以上)



製品本体が設定状態に入ります。
※設定状態は約2分です。時間内にすべての設定を完了させてください。

- ③ ビルトインリモコンの **開/閉** を押す。



- ④ **止** を5回押す。



5回押す

設定完了



「設定が完了しました」と表示されない場合は、組み合わせ設定が完了していません。
手順 ② からやり直してください。

- ⑤ **終了** を押す。

画面にボタンが表示されます



12 リモコンの取り付け(つづき)

ビルトインリモコンの場合

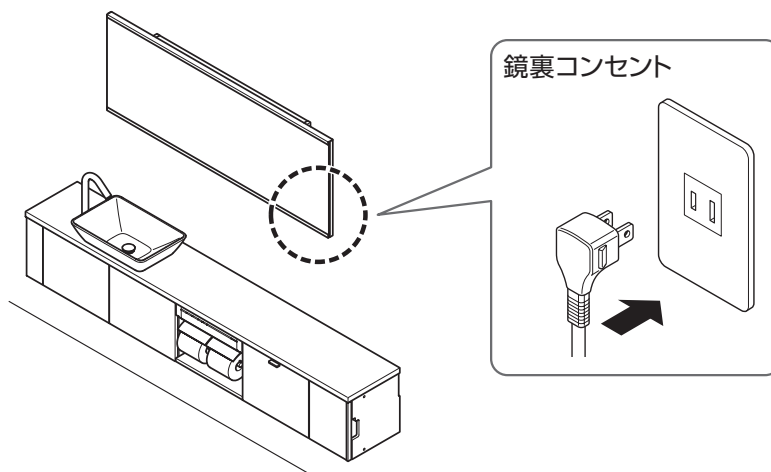
B

- ネオレスト施工説明書の「リモコンの取り付け(ビルトインリモコンの場合)」およびレストルームドレッサー施工説明書「照明付化粧鏡(オプション品)」の施工までを完了してから行ってください。

必ず以下の施工手順に従って作業してください。

(施工手順を変えると、正しく設定できない場合があります。)

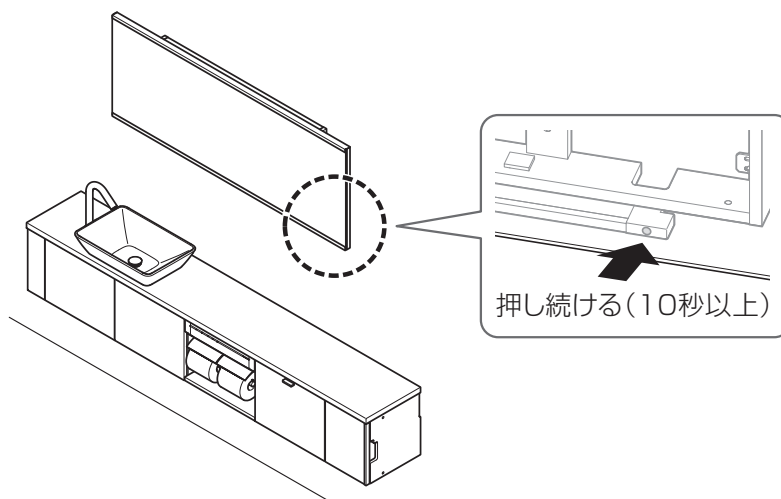
- 1 右図の電源プラグを差し込む。



- 2 照明付化粧鏡の内側にあるペアリングスイッチを10秒以上押す。

- 設定状態に入り、照明付化粧鏡が約1秒おきに点滅します。

※設定状態は約5分です。
時間内に、すべての設定を
完了させてください。



取付方法

12 リモコンの取り付け(つづき)

ビルトインリモコンの場合

- ③ ウォシュレット本体とビルトインリモコンの電源プラグを差し込む。

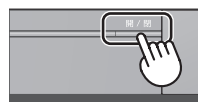
- ④ 便座右上の流すボタン^⑤を押し続ける。
(10秒以上)

・ ボタンを押すとすぐに「ピッ」という電子音が鳴りますが、約10秒後に「ピッ」という電子音がもう一度鳴るまで押し続けてください。
(設定状態に入ります。)
(1回目の電子音は、便器洗浄の受付音です。)

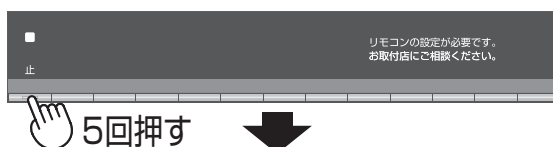


※製品本体の設定状態は約2分です。

- ⑤ ビルトインリモコンの **開/閉** を押す。



- ⑥ **止** を5回押す。



確認(各項目を確認後、□に✓してください)

- ☐ リモコン画面に「設定が完了しました」と表示されましたか



「はい」

「いいえ」

手順 **B-②** からやり直してください。

- ☐ 照明付化粧鏡が0.5秒おきに点滅し、約10秒後に点滅が終わりましたか

- ☐ **終了** → **設定** → **次ページへ** を押す
→ リモコン画面に「照明」が表示されましたか



すべて「はい」

手順 **⑦** へ

1つでも「いいえ」

止 と **パワー脱臭** 同時に10秒以上押した後に
手順 **B-②** からやり直してください。



- ⑦ **終了** を押す。



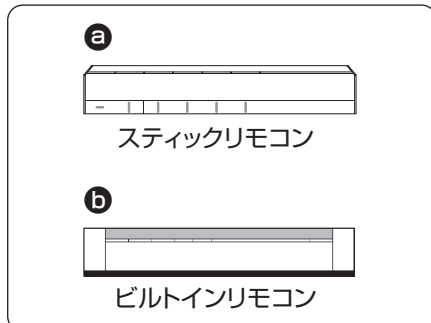
- ⑧ レストルームドレッサー施工説明書の「照明付化粧鏡の動作確認」を行う。

洗浄水量の切り替え

13 洗浄水量の切り替え(自治体によって洗浄水量の規制がある場合)

- 自治体によって洗浄水量の規制がある場合、
大洗浄3.8 L、小洗浄3.0 L仕様
を次の水量に変更することができます。

※リモコンによって設定方法が異なります。

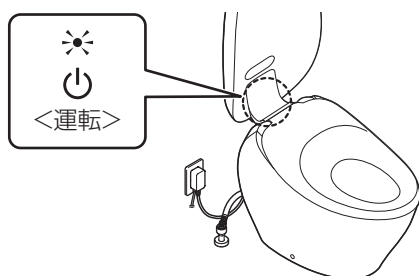


- ① 「止」 ボタンを10秒以上押す。
 (a) (b) 「施工者モード」画面が表示されます。
- ② (a) ▲で「便器洗浄水量切替」を選び 押す。
 (b) 「便器洗浄水量切替」ボタンを押す。
 ●「便器洗浄水量切替」画面が表示されます。

③	大洗浄6 L、小洗浄5 L仕様 への切り替え	大洗浄8 L、小洗浄6 L仕様 への切り替え
(a)	▲で「便器洗浄水量切替①」を選び 押す。	▲で「便器洗浄水量切替②」を選び 押す。
(b)	「水量切替①」ボタンを押す。	「水量切替②」ボタンを押す。
➡ (a) (b)	「ピッ」という電子音が鳴ります。	

- ④ 「止」ボタンを押す ※もとの仕様に戻す場合は同じ操作を行い、③で「ピーッ」という電子音が鳴れば設定完了です。

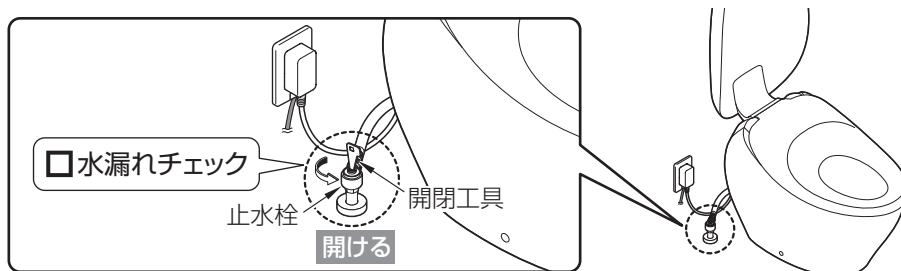
14 試運転（各項目を確認後、□に✓してください）



- 試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。（本体表示部の「運転」ランプが点灯します。）

1 製品本体の確認

□ 止水栓を開ける



※付属の開閉工具を使用してください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。

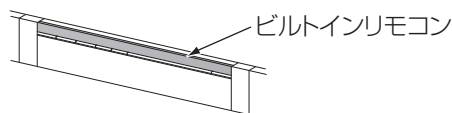
□ 便器に水が流れていませんか

→電源プラグをコンセントに差し込むと水が止まります。

電源工事が未完了のときは、止水栓を閉めてください。試運転は、電源工事が終わってから実施してください。

□ 自治体による洗浄水量の規制に合った水量設定を行いましたか（P.25）

□ 組み合わせ設定を行いましたか （ビルトインリモコン付のみ）

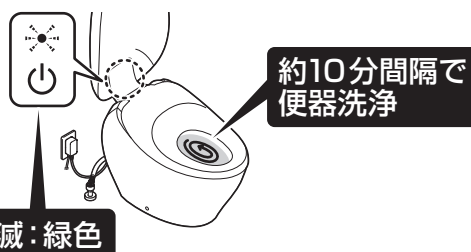


□ 運転ランプが点滅していませんか

→凍結防止が「入」に設定されています。

※仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。

- 凍結防止を「入」にすると、右記のように作動します。



運転ランプが点滅：緑色

14 試運転(つづき) (各項目を確認後、□に✓してください)

2 機能の確認

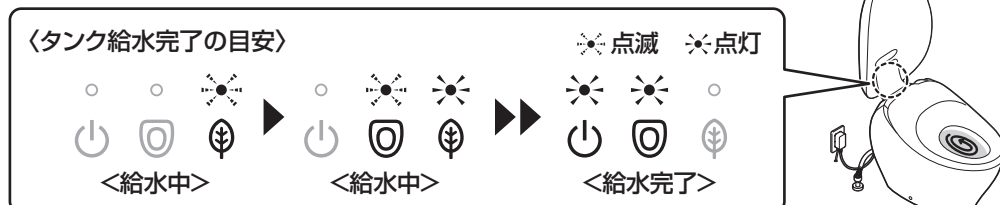
□ 便器洗浄しますか

※便器に内蔵しているタンクに水が溜まっていないと便器洗浄できません。

- 「便器洗浄」ボタンを押すとタンクに給水し、便器に水を流します。
(給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。))

その間はすべてのボタンを押さないでください。

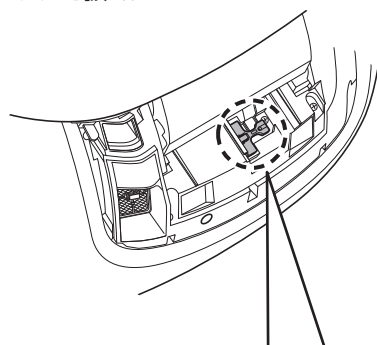
給水完了後、再度「便器洗浄」ボタンを押して便器洗浄の確認を行ってください。



□ 手動レバーで便器洗浄しますか

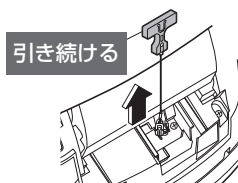
※電源プラグを差し込んで約60秒以上たってから、確認を行ってください。

- ① 電源プラグを抜く。



- ② 手動レバーを止まる位置まで引き続ける。(約30秒)

- 便器の水たまり面が上昇します。



引き続ける

便器の水があふれることはありません。

- ③ 「ピピッ」という電子音が鳴り、給水が止まったら手動レバーをはなして、もとの位置にもどす。

- 便器の水が流れます。
- ※ 便器洗浄後、または途中で手動レバーをはなすと、約60秒間は便器洗浄できません。約60秒以上たってから、もう一度便器洗浄してください。

はなして
もとの位置
にもどす



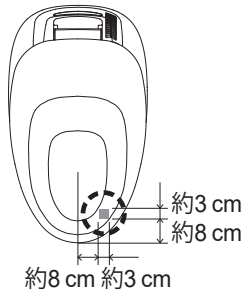
- ④ 電源プラグを差し込む。

14 試運転(つづき) (各項目を確認後、□に✓してください)

□ノズルから洗浄水が出ますか

【作動の確認】

- ①手または腕で図の破線部(着座センサー部)に触れる
(④まで触れたままにしておいてください。)
・センサーの特性上、肌が直接触れるようにしてください。
→脱臭がはじまることを確認してください。



- ②紙コップを準備する。
リモコンの
- ③「おしり」ボタンを押す。
- ④手または腕を上図の破線部(着座センサー部)からはなす

作動しない場合

- ➔リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
- ※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。
 - 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
 - 本体やリモコンの近くに金属物があるとき
- ※スティックリモコンの場合、同梱以外のものを取り付けると作動しません。
- 本体と、リモコンのラベルで組み合わせを確認し、同梱のものを取り付けてください。
(表紙 **工事業者様へ** 参照)

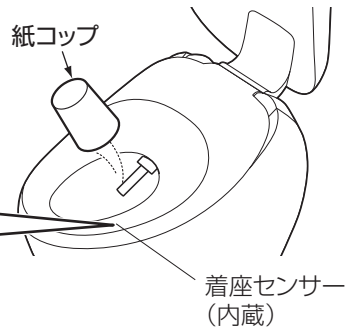
□リモコンで便ふたがきちんと開きますか

※3回続けて開いた位置を記憶します。

便ふたが途中で止まるようになった場合



- ①障害物を取り除く。
- ②電源プラグを抜き、約5秒後に差し込む。
- ③リモコンの「便ふた開閉」ボタンを押す。



組み合わせ設定

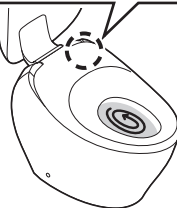
_____の場合 **試運転** ②機能の確認 でリモコンのボタンを押して作動しなかった場合のみ、「組み合わせ設定」を行ってください。

- 設定は1台ずつ行ってください。

- ①一度電源プラグを抜き、再度差し込む。

- ②便座右上の流すボタンを押し続ける。
(10秒以上)

・ボタンを押すとすぐに「ピッ」という電子音が鳴り便器洗浄しますが、約10秒後に「ピッ」という電子音がもう一度鳴るまで押し続けてください。
(設定状態に入ります。)



※製品の設定状態は約2分です。

- ③「止」を5回押す。(「ピッ」という電子音が鳴る)

<設定完了>

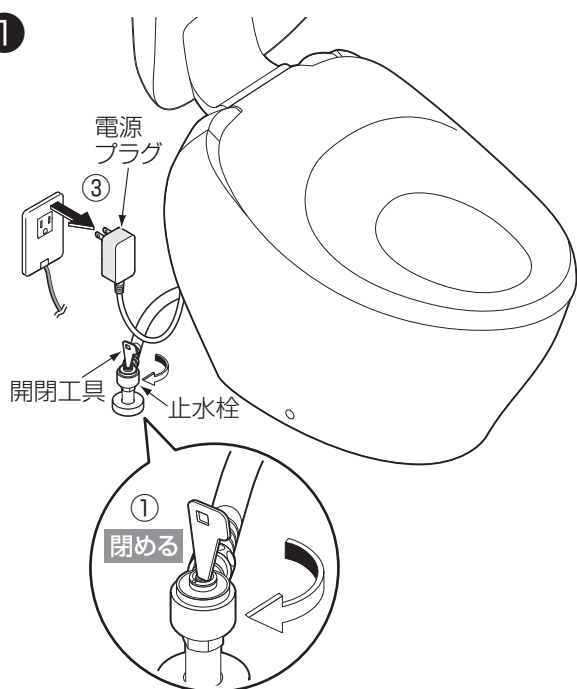
注意 設定状態に入ってから、約2分以内に設定を行ってください。
手順③で電子音が鳴らない場合は、再度手順①からやり直してください。

- ④もう一度、**試運転** ②機能の確認 を行ってください。

給水フィルターの掃除（試運転後）

【便器部】

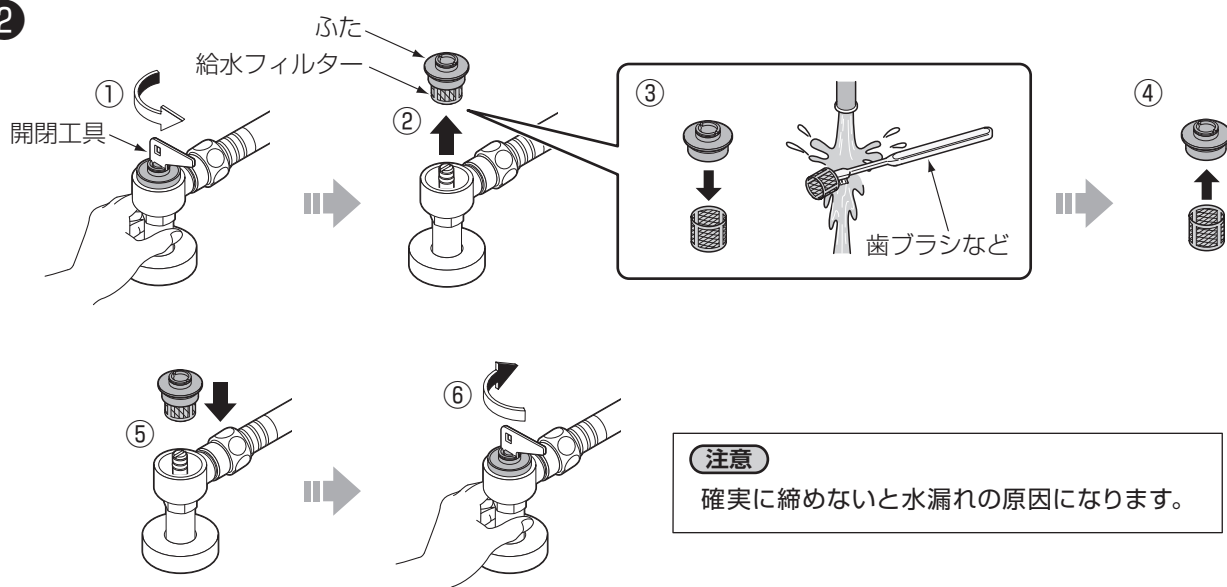
①



②リモコンの 押す。

※給水管内の圧抜きです。

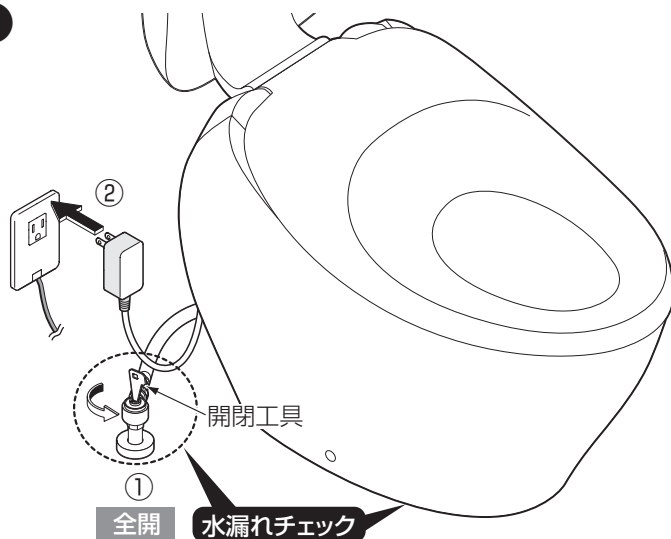
②



注意

確実に締めないと水漏れの原因になります。

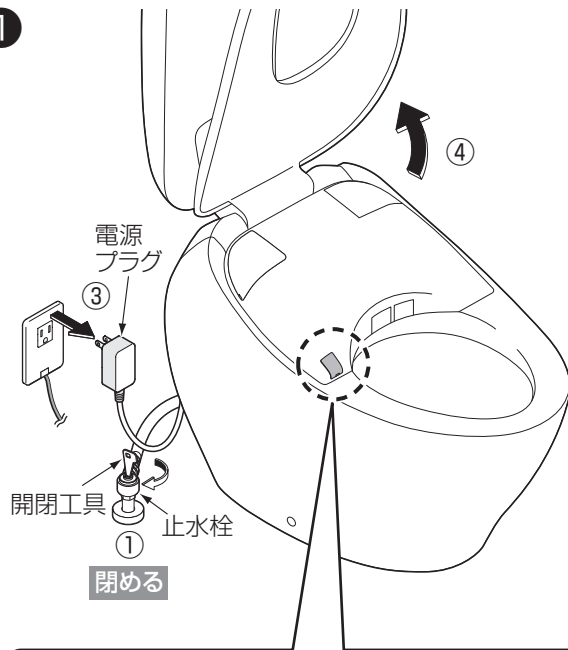
③



給水フィルターの掃除（試運転後）（つづき）

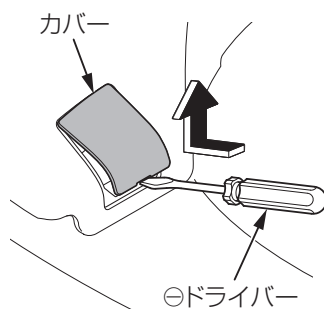
【ウォシュレット部】

①

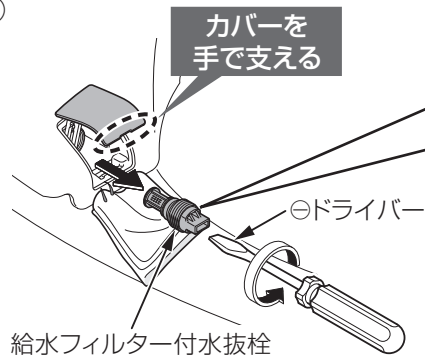


②リモコンの ✨ 押す。
※給水管内の圧抜きです。

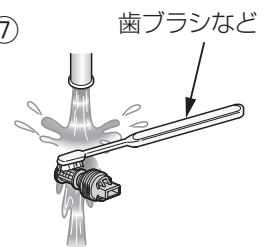
⑤



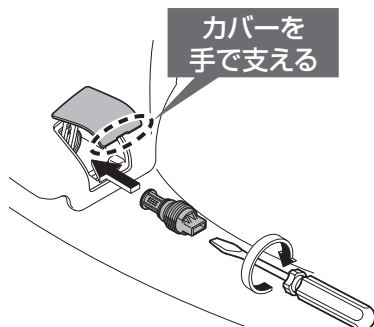
⑥



⑦



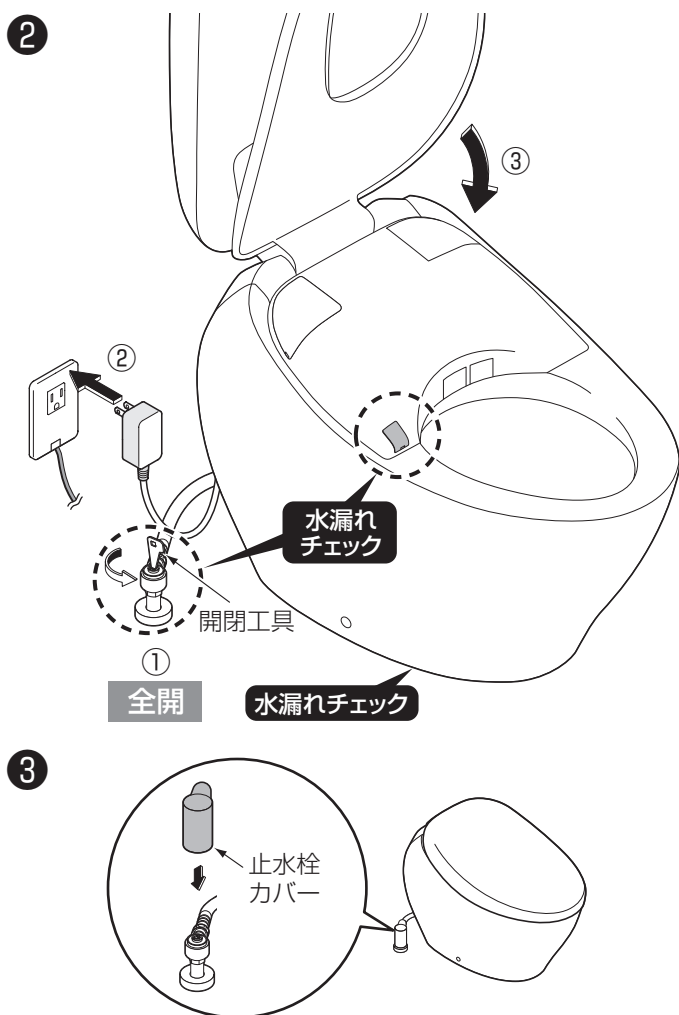
⑧



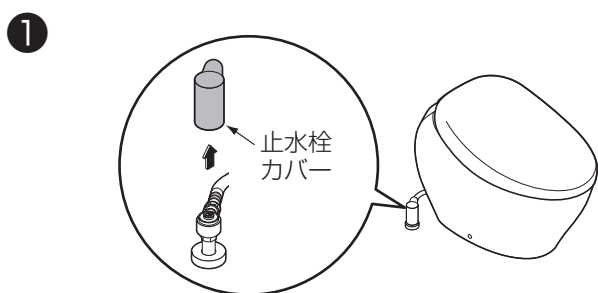
⑨



給水フィルターの掃除（試運転後）（つづき）



製品引き渡しまでの期間が長い場合



- ② 止水栓を閉める。
（給水フィルターの掃除（試運転後）【ウォシュレット部】①ー①参照）
- ③ 配管の水を抜く。
（給水フィルターの掃除（試運転後）【ウォシュレット部】①ー②③④⑤⑦⑧参照）
※電源プラグは抜いたままにしておいてください。
- ④ 止水栓カバーを取り付ける。
（給水フィルターの掃除（試運転後）【ウォシュレット部】③参照）

■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水（封水）に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
（不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。）

工事業者様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- 本製品の機能、使いかたについてお客様に説明してください。
- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などが無いことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見ない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。
- 試運転後はすべての接続部において水漏れしていないか確認してください。
取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材を塗布することをおすすめいたします。

